

やはたの丘

北九州市立八幡特別支援学校
校長 松永寿幸

高等部実習オリエンテーション 卒業生の先輩が来校！

5月18日（月）、今春、エフコープ生活協同組合折尾店に就職した卒業生が来校し、実習オリエンテーションのゲストティーチャートとして高等部の授業に参加していただきました。体育館が使用できなかったため、マルチの教室で行いました。写真に示したとおり、狭くて、机やいすもなく、窮屈な環境でしたが、生徒の目は全員生き生きと輝いていたように思います。

最初は、進路指導主事の神田先生のお話です。実習の目標やめあてを指導されていました。

1年生は初めての实習です。校内での作業学習を中心とした実習を行います。学校の実習ですが、会社や作業所のつもりで働きます。2・3年生は、校外での実習となります。特に3年生は、卒業時の就業を視野に入れた実習となります。実習の目標は以下に示したとおりです。



窮屈な部屋で実習オリエンテーション

（1年生の実習目標）

- 大きな声であいさつをする。
- 時間を守る。
- 仕事を最後までがんばる。
- 体調管理に気を付ける。

（2・3年生の実習目標）

- 実習先の人といっしょに活動する。
- 新しい仕事を経験する。
- 交通機関や実習先に慣れる。
- 体調管理に気を付ける。

（1年生の全体目標）

- 正しいことば遣い。
- 時間を守る。
- 返事をする。

（2年生の全体目標）

- 仕事にチャレンジ。
- 自分の可能性を広げる。
- 返事をする。

（3年生の全体目標）

- 卒業する時の自分をイメージする。
- 感謝の気持ちを表す。
- 社会人としてチャレンジする。

神田先生は、さまざまな実習先のことを知り尽くしたスペシャリストです。実習先にどのような方がいて皆さんの課題を解決するために、どの職場で実習するといいのか、どんな仕事マッチングしているのか、生徒にどのような職場がマッチングしているのか、一人でコツコツ働く職場がいいのか、職場の皆さんと一緒に仕事をする職場かなどが指導できる数少ない教員です。

それぞれの就業先、生活介護等の支援を受けながら自立した生活ができるようになるため

には、どのようなことを鍛えていかないといけないのか、高等部入学してから3年後に就業を目指すためにはどのような力が必要なのかが、見えている先生です。そうした意味で、高等部1年次、神田先生と担任の先生、保護者の皆さんと本人による個別の進路相談を通して、3年後を見通した進路指導が必要と考えます。

ところで、実習先では、実際に一生懸命に働いている方の隣で、皆さんは実習をさせていただきます。実習先で皆さんの世話をしたり、仕事や作業を教えていただいたりする方も、本来の自分の仕事があります。皆さんの実習期間は、本来の仕事と皆さんの実習にかかわる仕事と、いつもの2倍の仕事をするようになります。だから、実習先の皆様への感謝の気持ちを忘れてはいけません。あいさつとお礼は、最低のマナーです。遅刻や欠勤することなく、まじめに一生懸命がんばりましょう。



エフコープ生協折尾店に就業した先輩の話



先輩と神田先生とのコラボ

先輩がエフコープ生協のユニフォームを着て、誇りをもって仕事をしているオーラが出ていました。1年生、2年生、3年生も、みんな真剣に先輩の話を聞いていました。目が輝いていました。初出勤の日は、ジャケットを着て、副店長にあいさつ。うれしかったことは、職場の皆さんが温かく迎えてくれたことだそうです。定期の実習以外にも、忙しい時期に特別実習をさせていただき、まじめに、一生懸命に働いたからこそ、職場の方から認められたのだと思います。「学校は勉強をするところ、体力やハート（気力）を鍛えるところです」「職場は、責任をもって仕事をするところです。」だから、給料をいただきます。

先輩からいくつか、アドバイスをいただきました。「ルールやマナーを守ること」「服装や身だしなみを整えること」「遅刻や欠勤をしないようにすること」などが大切であることを教えていただきました。

後輩からの質問コーナーでも、『最初の給料はいくらでしたか?』『さすがに金額はいえませんが、こんなにもらってもいいのかと思うくらいのお金でした』『学校での一番の思い出は何ですか?』『このポーズをしたことです』伝統の八養太鼓を打つポーズをしてくれました。1年生の生徒から『どうしたら紙を見ないで、そんなにたくさんのお話ができるのですか?』と素朴な質問もありました。今の課題は、商品がどこにあるのかが分からないので、少しずつ自分で答えられるようにすることだそうです。

先輩の仕事メモを見せていただきました。上司からの指示をしっかりとメモしていました。絵や略図に吹き出しを入れてメモしているページもありました。神田先生からも、実習オリエンテーションで、先輩の話をメモしている生徒が少なかったので、指導がありました。メモをとる習慣をつけましょう。